

<これまで>と<これから>

- 「旧い政府」と「新しい政府」 -

〔自民党中心の旧い政府〕

霞が関中心の官僚主導型政府運営

内閣と与党の二元化と無責任

省益をバックにした縦割政治

族議員による政官業癒着の利権政治

大臣の各省独立体制

- 小さな「官邸」/大きな「霞が関」 -

〔民主党中心の新しい政府〕

官邸が中心の政治主導型政府運営

内閣と与党の一体化と明確な責任

首相がリードする総合政治

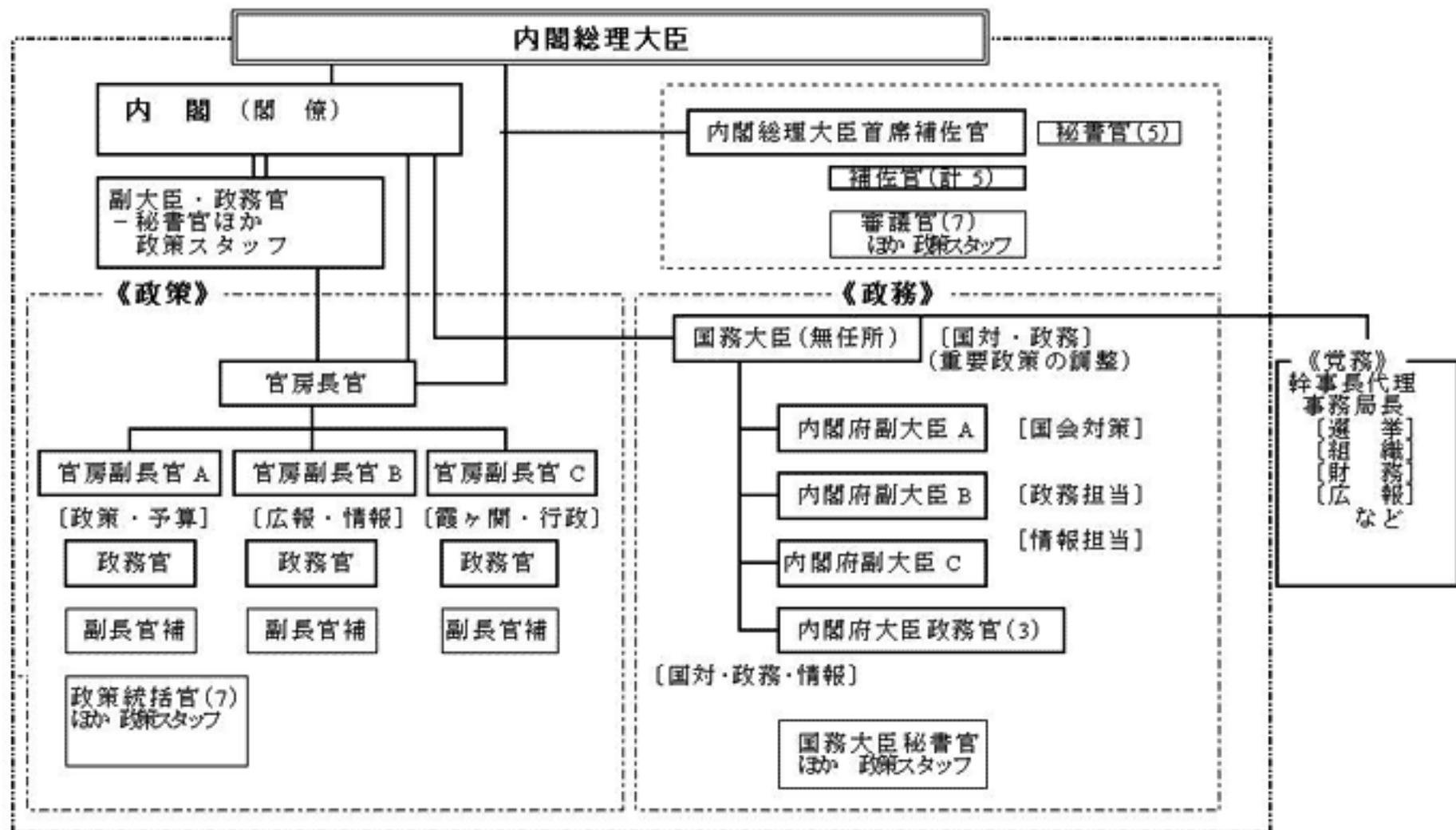
国益と国民生活優先の公正な政治

大臣の官邸常駐体制

- 拡充された「官邸・内閣」/
スリムでモラルアップした「霞が関」 -

首相官邸の中核体制

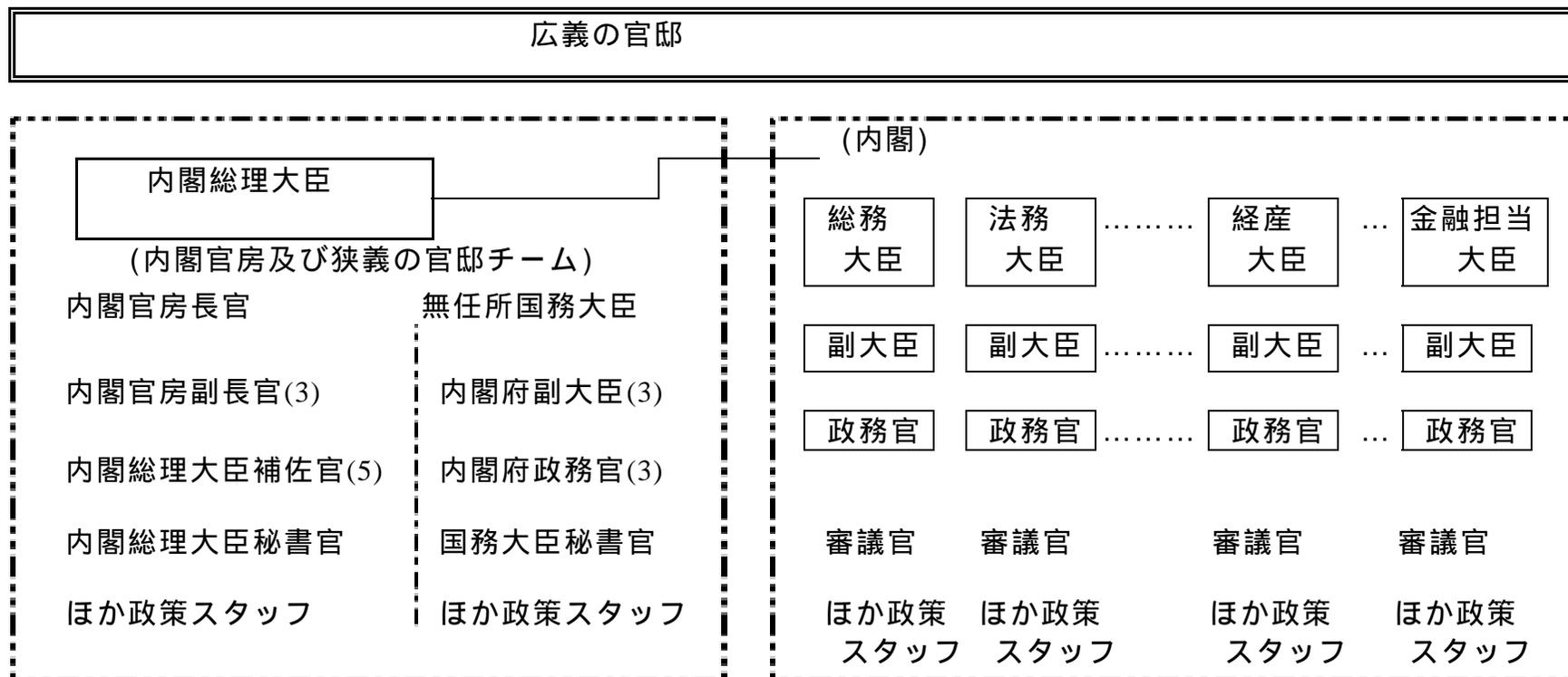
(別添 2)



- 注) 1.官邸と内閣府の一体的・統合的運営が前提である。この場合、政治用語としての「官邸」とはこの両者を含む。
 2.上記のうち、内閣府副大臣、内閣府政務官及び政策統括官は組織法上は、官邸ではなく「内閣府」に属する。
 3.なお、官房副長官の下に位置する「政務官」は、図上の「内閣総理大臣政務官」をもって配置することが可能である。

大臣官邸常駐体制

首相官邸と内閣府本府に、原則としてすべての国務大臣（少なくとも主要閣僚）を常駐させる。
これにより、内閣（首相以下の閣僚チーム）の政治的求心力を強め、霞が関への指導力を強化する。



- 注)1.官邸チームは、内閣官房を軸に内閣府の一部を含む。
2.国務大臣は、特命大臣を含めて、基本的に「広義の官邸」に常駐することとする。
3.(内閣)には、政治家からなる大臣チームに加えて、担当部門の政策を統括する政治的任用の官僚が常駐する。

政権の樹立と新政府展開：五つのステージ

準備ステージ

[総選挙勝利へ]

政権準備計画期

政権交代に向けた勝利戦略展開

新政策マニフェスト広報展開
新政権準備委員会の活動

第1ステージ

[勝利後5日間]

事実上の組閣期

政権準備五日間アクション

官邸運営の基本方針の策定
官邸人事方針の確定
事実上の組閣

第2ステージ

[特別国会開催まで25日]

新政権活動計画期

事実上の新内閣の始動

前内閣と併存・引継
特別国会への戦略対応
施政方針演説の策定
広義の官定人事準備完了
百日の三百日改革の作成
戦略的予算・法律事項整理

第3ステージ

[改革100日間]

新政権本格始動期

新政権の百日改革実施

特別国会・首班指名
所信表明演説で方針提示
初閣議・内閣運営基本提示
予算編成方針の提示
行政評価会議の設置・実行
百日改革の公表

第4ステージ

[改革300日間]

新政権の改革加速期

新政権の改革政策の断行加速

各種組織関連法改正案提示
本格的改革予算の作成
三百日改革プランの提示
自立的改革プログラムの試行断行

- 注) 1. 第1ステージにおける五日間で、官邸に入り込む政治家コア・メンバーと閣僚リストを最終確定する。
2. 第2ステージでは、官邸及び各省大臣の補佐体制を含めて人事配置を事実上確定する。
3. 第3ステージの「所信表明演説」の中に、予算編成方針や百日改革の重点などが含まれることになる。